

図書館だより SAKUらいぶ

作新学院大学

令和2年12月号

作新学院大学女子短期大学部 図書館

93

☆内 容☆

- ・先生と本と私
- ・恐るべし情報量
「雑誌コーナー」活用術
- ・最近の図書館の様子は
- ・冬じたく
- ・開館カレンダー

先生と本と私

人間文化学部 特任教授 村松和彦

あれは小学校3年生の頃だった。その頃の小学校は、「昼休みには外に出て遊ぶ」という規則があって、級友は外で鬼ごっこやボール遊びに興じていたが、私は昼休みに教室で本を読んでいる子供だった。ある日の昼休み、担任の先生が教室に来て、「外で遊ばないの？」と聞かれ、「本を読むから外には行かない。」と答えたらしい。その先生は、私が昼休みに外で遊ばないことを咎めず、それ以降も好きに読書をさせてくれた。

小学校も高学年になり、校舎の建て替え工事があったって、図書室の書架が教室の廊下に移動してきた。幸運なことに私の教室近くの書架には子供向けのSF全集が入った。私はそのSF全集を教室の私の机の中に入れて詰め込み、一冊読み終わったら書架に戻し、新しい本を机の中に補充して読んでいた。その時の担任の先生は中年の男性で、掃除の時に教室掃除の子供たちに重い机を運ぶ苦勞があったにもかかわらず、「あいつは本が好きだから」と、私の自分勝手な行為に目をつぶってくれていたのである。

教師というものは、同調圧力もあってか一律の指導をしがちで、規則を守らせようとする人が多い。しかし私は担任の先生方に恵まれ、読書に耽溺する日々を見守られていたことも、今に至る本好きな人間に育った理由のひとつであると思い、感謝している。

恐るべし情報量「雑誌コーナー」活用術

一般誌から業界誌まで蔵書は約500誌



図書館って、難しい本がばかりだと思っている方はいませんか？

もちろん、大学の図書館ですから難しい本もたくさんあります。しかし・・・
気軽に読みたい本も、実はたくさんあるのです。

その一つが「雑誌コーナー」の本です。

「雑誌コーナー」には、一般誌・ビジネス誌・スポーツ誌・文芸誌・教育誌・広報誌・・・等、
海外のものも含めて約500種類の週刊誌・月刊誌が置かれています。

このコーナーだけでも、「**図書館に足を運ぶ価値あり**」です。

雑誌利用の方法は？

【学外利用者の方】

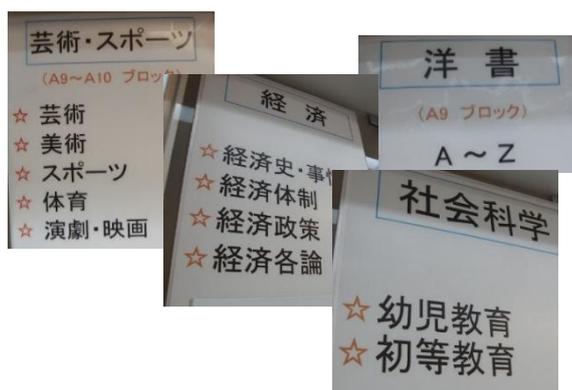
館内閲覧ができます。貸出は行っておりません。

※現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般の方のご利用はお断りしています。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

【学内利用者の方】

最新号は、館内閲覧のみで貸出は行っておりません。バックナンバー（最新号以外）は、5冊まで借りられます。期間は1週間です。

雑誌の最新号は利用の要望が高いため、多くの方に利用していただけるように館内閲覧のみとしています。次号が登録された時点で、借りていただけるようになります。ご理解をお願いします。



雑誌の探し方は？

「雑誌コーナー」は、閲覧室に入ってすぐ右側です。雑誌は、左写真のような分野に分類しておいてあります。最新号は、上写真のように表紙を見せて置いてあり探しやすいです。バックナンバーは、最新号が置いてある棚の扉の中にあります。

最近の図書館の様子は・・・



コロナ禍の中、感染防止対策を行いながら開館している図書館ですが、今、どのように皆さんに活用していただいているかをご紹介します。

学生さんたちは

話題の本を借りたり新聞を読みに来たりするなど「貸出返却」「閲覧」目的で来館する方が多いのは確かですが、このところ目立って増えているのが「グループ学習室」や「院生ブース」のPCを使って「遠隔授業を受講する」ことが目的の学生さんたちです。学内情報サービス「TECMIN-テクミン-」を活用して先生からの課題を確認しレポート



を作成していたり、Zoom等を利用した「オンライン授業」に参加したりする姿がたくさん見られるようになりました。

現在、館内には学生さんが自由に使えるPCが14台ありますが、その利用率が100%になる時がでてきています。そのような時は、「ふれあいroom」を開放して大型モニターを使って、同じ授業を受講する学生さんたちが授業を受講できるようにしています。「オンライン授業」では、当初、先生のプレゼン等を見たり話を聞いたりすることが多かったですが、最近では「オンライン上で話し合う機能」を活用し、学生同士や先生と双方向のやり取りをしながら授業を受けている姿を見ることも多くなってきました。コロナ禍ではありますが、学生さんたちが主体的に学ぼうとしている姿はとてもすばらしいです。

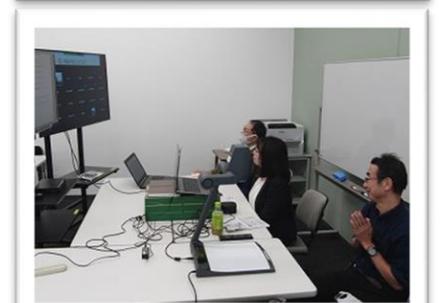


作業を受講できるようにしています。「オンライン授業」では、当初、先生のプレゼン等を見たり話を聞いたりすることが多かったですが、最近では「オンライン上で話し合う機能」を活用し、学生同士や先生と双方向のやり取りをしながら授業を受けている姿を見ることも多くなってきました。コロナ禍ではありますが、学生さんたちが主体的に学ぼうとしている姿はとてもすばらしいです。

先生方は

図書館の本を活用した授業を実践してくださっている先生とともに、図書館を「Zoom等の授業」の発信場所として利用してくださっている先生方も多くなってきています。主に図書館内の「ゼミ室」を使うのですが、先生自らがここから授業発信をしたり、外部講師の方を招聘し講話をしていただいたりすることが毎日のように行われています。

先生方も、スマホで授業を受けているかもしれない学生さんたちのことを考え、より分かりやすいプレゼンを作成したり、画面を通して学生に質問し双方向のやり取りを実践しようとしていたりするなど、授業作りに大変工夫されていることが分かります。



図書館では、今後も、皆さんが利用しやすい環境作りを行っていきます。

冬じたく

心と体の準備はできていますか？

暖かい秋が続いていましたが、ここにきて急に朝夕の気温が下がり始め、冬めいてきました。図書館前広場も、写真のように落ち葉の絨毯ができています。関東地方の3か月天気予報をみると、この期間「晴れの日が多く気温は平年並み」との見通しが出ています。ちなみに、宇都宮の12月中旬の平年並みの気温とは最低気温が -0.4°C 、最高気温が 10.5°C だそうです。重ね着で体温を逃がさない工夫をするとともに「カイロ」などを使って体の備えをしてください。



また、冬は日照時間が少なく活動量が減りがちな上、今年はコロナの影響でいつものような人が集まるイベントができない状況です。それに伴い「心のウキウキ度」も高くないことが多いことでしょう。では、どうすれば冬を乗り切る心の準備ができるのでしょうか・・・？答えは、「社会性を保つ」ことだそうです。簡単に言うと誰かとおしゃべりをする事です。今どきの「オンラインおしゃべり」もあるでしょうが、もっと必要なことは「リアルな世界でのおしゃべり」を大切にすることです。家族・ご近所さん・友達・先生・・・etc。「みんなで声を掛け合い支え合っていこう」ということなのでしょうね。こんな時代だからこそ簡単にできる楽しい時間作りを実践してみませんか。合言葉は「おしゃべり」です。マスク・ソーシャルディスタンスに気を付け、小声でのおしゃべりを楽しみながら冬の到来のための心の準備をしていきましょう。



開館カレンダー

2020年12月

- 午前9:00～午後6:00
- 休館日
- 午前9:00～午後4:00
- 午前9:00～午後1:30

引き続き、一般の方のご利用をお断りしています。ご理解の上、ご了承ください。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail tosyos@sakushin-u.ac.jp  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

